

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置								
フリガナ	ガクコウカクジン テイコウカクガクガク								
設置者	学校法人 帝京科学大学								
フリガナ	テイコウカクガクガクガク								
大学の名称	帝京科学大学大学院 (The Graduate school of Teikyo University of Science)								
大学の位置	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号								
大学の目的	本学は教育基本法に基づき、広く知識を授け人格の陶冶を図り、知的及び応用的能力を展開させると共に、深く専門の学術を教授・研究し、国際的視野に立って、日本国の発展に貢献できる有為な人材を養成することを目的とする。								
新設学部等の目的	本大学院における教育の主な目的は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことであり、高度な専門的知識・能力を有する人材を育成することにある。そこで本専攻では、①創造性豊かで高度な専門的知識・能力を有する人材の育成②科学的に解決する思考力や科学的根拠に基づく実践力のある人材の育成③問題解決能力と基本的教育研究能力をもった高度専門職者の育成を目的とする。								
新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	年	人	年次人	人		年 月 第 年次			
新設学部等の概要	医療科学研究科 〔Graduate School of Medical Science〕				博士 (リハビリテーション学) 【Doctor of Rehabilitation science】	平32年4月 第1年次	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号		
	総合リハビリテーション学専攻 博士課程 〔Doctoral course of Comprehensive Rehabilitation〕	3	2	—					
計		2	—	6					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	医療科学研究科看護学専攻(修士課程) (3) (平成31年3月認可申請) 医療科学研究科柔道整復学健康ケア専攻(修士課程) (3) (平成31年3月認可申請)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程	5科目	3科目	0科目	8科目	18単位			
教員	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		
新設分	医療科学研究科 看護学専攻(修士課程)		8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	9 (9)
	医療科学研究科 柔道整復学健康ケア専攻(修士課程)		9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)
組	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻(博士課程)		12 (11)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	14 (13)	0 (0)	0 (0)
	計		29 (28)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	39 (38)	0 (0)	— (—)
概	理工学研究科 バイオサイエンス専攻(修士課程)		9 (9)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
	理工学研究科 環境マテリアル専攻(修士課程)		6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
の	理工学研究科 メディア情報システム専攻(修士課程)		7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	0 (0)
	理工学研究科 アニマルサイエンス専攻(修士課程)		12 (12)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	0 (0)
要	理工学研究科 先端科学技術専攻(博士後期課程)		26 (26)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	0 (0)
	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻(修士課程)		10 (10)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	1 (1)
	総合教育センター		5 (5)	5 (5)	6 (6)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	66 (66)
	教職センター		0 (0)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	4 (4)
	医学教育センター		6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
	計		81 (81)	21 (21)	15 (15)	2 (2)	119 (119)	0 (0)	— (—)
	合計		110 (109)	31 (31)	15 (15)	2 (2)	158 (157)	0 (0)	— (—)

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計			大学全体		
	事 務 職 員		92 人 (92)	24 人 (24)	116 人 (116)					
	技 術 職 員		12 人 (12)	5 人 (5)	17 人 (17)					
	図 書 館 専 門 職 員		4 人 (4)	3 人 (3)	7 人 (7)					
	そ の 他 の 職 員		0 人 (0)	0 人 (0)	0 人 (0)					
計		108 人 (108)	32 人 (32)	140 人 (140)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	133,043㎡	0 ㎡	0 ㎡	133,043㎡					
	運 動 場 用 地	139,196㎡	0 ㎡	0 ㎡	139,196㎡					
	小 計	272,239㎡	0 ㎡	0 ㎡	272,239㎡					
	そ の 他	2,382㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,382㎡					
合 計	274,621㎡	0 ㎡	0 ㎡	274,621㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
		70,292.16㎡ (70,292.16㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	70,292.16㎡ (70,292.16㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			大学全体		
	81室	29室	119室	7室 (補助職員 0人)	7室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程		12 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程	24,696 [707] (23,747 [680])	63 [5] (61 [5])	64 [64] (62 [62])	1,336 (1,284)	795 (795)	54 (54)			
	計	24,696 [707] (23,747 [680])	63 [5] (61 [5])	64 [64] (62 [62])	1,336 (1,284)	795 (795)	54 (54)			
図 書 館		面積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
		4,893㎡	731		199,250					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
		4,928.19㎡	千住キャンパス:柔道場、トレーニングルーム / 東京西キャンパス:テニスコート、格技場、剣道場 / 山梨キャンパス:柔道場							
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	「教員1人当り研究費等」について、研究科単位での算出不能なため、学部との合計
		教員1人当り研究費等		383千円	383千円	383千円	— 千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	— 千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	350千円	10千円	10千円	10千円	— 千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	1,700千円	100千円	100千円	100千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生1人当り納付金		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		1,250千円	940千円	940千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

大 学 の 名 称	帝京科学大学								所 在 地			
	学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度				
既設大学等の状況	生命環境学部											
	生命科学科	4	100	3年次10人	400	学士(理学)	1.02	平成20年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号	※平成29年度入学定員増(20人)		
	自然環境学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	0.94	平成22年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	7mmolイェンズ学科	4	290	3年次5	1170	学士(理学)	1.07	平成14年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	医療科学部											
	理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法)	1.03	平成19年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地			
	作業療法学科	4	40	—	160	学士(作業療法)	0.79	平成20年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地			
	柔道整復学科	4	30	—	120	学士(柔道整復)	0.92	平成21年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地			
	東京理学療法学科	4	80	—	320	学士(理学療法)	1.07	平成22年度	山梨県山梨市上神内川1150-1 東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	東京柔道整復学科	4	90	—	360	学士(柔道整復)	1.07	平成22年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	看護学科	4	80	—	320	学士(看護)	1.10	平成24年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	医療福祉学科	4	50	3年次10	310	学士(医療福祉)	0.63	平成28年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号	※平成31年度入学定員減(△30)		
	教育人間科学部										※平成29年度より名称変更(こども学部→教育人間科学部)	
	こども学科	4	50	3年次5	210	学士(児童学)	0.82	平成20年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地			
	児童教育学科	4	—	—	—	学士(児童学)	—	平成22年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号	※平成28年度より学生募集停止(児童教育学科)		
	幼児保育学科	4	100	—	400	学士(児童学)	0.98	平成28年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号			
	学校教育学科	4	130	—	430	学士(学校教育)	1.15	平成28年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号	※平成31年度入学定員増(30)		
	大学院											
	理工学研究科											
	バイオサイエンス専攻	2	15	—	30	修士(バイオサイエンス)	0.10	平成6年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地			
環境マテリアル専攻	2	15	—	30	修士(環境マテリアル)	0.19	平成6年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地				
メディア情報システム専攻	2	15	—	30	修士(メディア情報システム)	0.03	平成17年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地				
アニマルサイエンス専攻	2	15	—	30	修士(アニマルサイエンス)	0.49	平成17年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地				
先端科学技術専攻	3	8	—	24	博士(先端科学技術)	0.12	平成8年度	山梨県上野原市八ツ沢字乙越2525番地				
医療科学研究科												
総合リハビリテーション学専攻	2	3	—	6	修士(リハビリテーション)	1.50	平成30年度	東京都足立区千住桜木二丁目2番1号				
附属施設の概要	名称：帝京山梨接骨院 住所：山梨県山梨市上神内川1150-1 平成22年11月完成 平成22年11月開設 平成24年4月実習開始 規模：147.19 m ² 名称：帝京千住接骨院 住所：東京都足立区千住元町33番1号 平成22年8月完成 平成23年3月開設 平成25年4月実習開始 規模：121.12 m ²											

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
科共 目通	総合リハビリテーション学研究倫理特講	1前	1			○			1	1					オムニバス
	総合リハビリテーション学研究法特講	1前	1			○			2						オムニバス
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			3	1	0	0	0	—	—
専 門 科 目	総合リハビリテーション学特講Ⅰ	1・2前		2		○			4						オムニバス
	総合リハビリテーション学特講Ⅱ	1・2前		2		○			3	1					オムニバス
	総合リハビリテーション学特講Ⅲ	1・2前		2		○			4						オムニバス
	小計(3科目)	—	0	6	0	—			11	1	0	0	0	—	—
特 指 別 導 研 究	特別研究指導Ⅰ	1通	4				○		10	2					
	特別研究指導Ⅱ	2通	4				○		10	2					
	特別研究指導Ⅲ	3通	4				○		10	2					
	小計(3科目)	—	12	0	0	—			10	2	0	0	0	—	—
合計(8科目)		—	14	6	0	—			12	2	0	0	0	—	—
学位又は称号	博士(リハビリテーション学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)									
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
共通科目2科目(2単位)及び特別研究指導(研究指導科目)(12単位)を必修、ならびに専門科目3科目中の2科目(4単位)を選択必修とする。必修および選択必修科目を含む18単位以上を履修、修得し、博士論文が本学論文審査に合格すること。								1 学年の学期区分				2 学期			
								1 学期の授業期間				15週			
								1 時限の授業時間				90分			

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

授 業 科 目 の 概 要			
（医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通 科目	総合リハビリテーション学 研究倫理特講	<p>本講義では、論文作成・発表、共同研究等の研究活動を遂行するうえで、予め知っておくべき研究倫理と生命倫理の遵守事項を修得するために、研究計画のあり方から知的財産権、被験者保護等の基本的事項をはじめ、利益相反、更には研究ノートとデータ管理、倫理審査過程などに関する事項について、オムニバス形式の講義を通じて学修を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全8回）</p> <p>（9 宮下 智／4回） リハビリテーションに関連する研究を実施するにあたり、必要な研究計画のあり方から知的財産権、被験者保護などについて講義し、実践力を養う。</p> <p>（12 廣瀬 昇／4回） リハビリテーションに関連する研究を実施するにあたり、研究ノートとデータ管理、倫理審査過程などに関する事項について講義し、実践力を養う。</p>	オムニバス方式
共通 科目	総合リハビリテーション学 研究法特講	<p>リハビリテーション科学分野は多種多様なニーズが含まれ、疾病予防、健康増進、自立生活支援を見据えた基礎的・応用的な幅広い研究領域が求められる。そのため、本講義ではリハビリテーション科学に関連する種々の研究手法や意義を十分に理解し、研究計画の立案から論文の作成過程、公開までの一連の流れについて深く学修する。とくに、心身機能に対するリハビリテーション、また、地域・社会的リハビリテーション研究に必要な研究手法に対する知識・技術（研究目的・対象、統計手法、研究公開など）の学修を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全8回）</p> <p>（5 潮見 泰蔵／4回） 心身機能を中心としたリハビリテーション研究として、研究デザイン、研究課題の設定と研究計画の立案、文献の収集・読解、論文作成の過程、研究公開など講義し、実践力を養う。</p> <p>（7 山田 健／4回） 地域・社会的なリハビリテーション研究として、研究デザイン、研究課題の設定と研究計画の立案、文献の収集・読解、論文作成の過程、研究公開など講義し、実践力を養う。</p>	オムニバス方式
専門 科目	総合リハビリテーション学 特講 I	<p>本講義では、身体構造学・神経再生学・神経障害学・社会病理学などの医学的リハビリテーションの応用基礎を中心として、医学的リハビリテーションの視点から同分野が抱える主な疾病の病態発現と制御、心身機能の代償機能の機序などに関連する現象を科学的に捉える。とくに、各分野に関連する教員によるオムニバス形式の講義を通じて学修を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（6 鈴木 幹夫／3回） 様々な社会病理現象を理解することを通して、より深い人間洞察を目指す精神医学臨床に関する研究内容を紹介する。</p> <p>（8 眞先 敏弘／4回） 神経内科領域の再生医療を取り上げ、本分野での幹細胞移植治療に関する研究内容を紹介する。</p> <p>（10 萩原 宏毅／3回） 運動が骨格筋、代謝、脳機能に与える影響や運動制御の神経機構に関する研究内容を紹介する。</p> <p>（11 高田 雄三／5回） 尿酸輸送体関連遺伝子を主体とした、遺伝子多型による生活習慣病の分子病態解析・予防医学的研究に触れ、その研究内容を紹介する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
（医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程）			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	総合リハビリテーション学 特講Ⅱ	<p>本講義では、神経発達機能学・運動動作機能学・呼吸循環機能学・地域リハビリテーション学などの医学的リハビリテーション分野を中心として、疾患が起因する身体機能障害に対する病態理解、臨床的評価方法、障害予防・改善方法に関わる研究と教育を捉える。とくに、心身機能のリハビリテーションに関連する教員によるオムニバス形式の講義を通じて学修を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（3 橋本 伸也／4回） 地域リハビリテーションについて、制度・サービス・システム・方法等々の研究内容を紹介する。</p> <p>（5 潮見 泰蔵／5回） 神経・発達機能解析学に関する知識と技術をもとに、リハビリテーション科学領域における身体運動・動作解析の研究内容について紹介する。</p> <p>（9 宮下 智／3回） 運動機能解析研究における方法論とその内容について取り上げ、その研究内容を紹介する。</p> <p>（12 廣瀬 昇／3回） 呼吸循環機能学に関連する基礎研究と臨床評価指標、その解析方法に関する研究内容を紹介する。</p>	オムニバス方式
専門科目	総合リハビリテーション学 特講Ⅲ	<p>本講義では、高齢者リハビリテーション学・高齢者ケア学・地域生活支援学・健康心理学などの社会的リハビリテーション分野を中心として、実社会が示す身体機能と関連付け、自立生活を支援するために、地域の現状、生活者分析や転倒予防、高齢者支援、健康心理や行動などに関する研究を捉える。とくに、各分野に関連する教員によるオムニバス形式の講義を通じて学修を深める。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（1 泉 キヨ子／3回） 高齢者リハビリテーションケアに関する課題や高齢者の転倒・骨折予防に関する研究内容について紹介する。</p> <p>（2 津田 彰／4回） よりよく生きるためのQOLやウェルビーイングの理念に加え、科学的根拠に基づいた健康支援の方略とその実践に関する研究内容について紹介する。</p> <p>（4 吉岡 幸子／3回） 個人や家族、地域特性を踏まえ、生活者としての健康課題を予防的介入方法に関する研究内容について紹介する。</p> <p>（7 山田 健／5回） 超高齢化する日常生活圏域の実態およびセーフティネット構築方法論などに関する研究内容を紹介する。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
（医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究 指導	特別研究指導 I	<p>各指導教員の研究テーマに沿って研究活動を行うことにより、高度な専門知識を獲得するとともに、研究課題の設定、研究計画の立案、実験・調査・解析の遂行、考察、論文の作成といった一連の研究活動を推進できる能力を養う。</p> <p>特別研究指導 I では、テーマの設定、先行研究レビュー、研究計画立案、研究倫理審査申請、および研究計画発表等を行い、論文執筆のための基盤となる能力を養う。</p> <p>(1 泉 キヨ子) 高齢者リハビリテーションケア技術の開発および転倒予防システムの構築に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 津田 彰) 科学的根拠に基づいた効果的なストレスマネジメントプログラム効果の評価と実践介入などの研究指導を行う。</p> <p>(4 吉岡 幸子) 個人や家族、地域特性を踏まえ、生活者としての健康課題を予防的介入方法に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 鈴木 幹夫) 今後ますます重要になると思われる精神障害である気分障害と統合失調症について、そのリハビリテーションの臨床についての研究指導を行う。</p> <p>(7 山田 健) 人口変容による生活問題と終末期ケアに対応する医療・看護・介護・福祉ネットワークシステム構築の研究指導を行う。</p> <p>(8 眞先 敏弘) 神経内科領域の再生医療を取り上げ、本分野での幹細胞移植治療についての研究指導を行う。</p> <p>(10 萩原 宏毅) 運動が骨格筋、代謝、脳機能に与える影響や運動制御の神経機構についての研究指導を行う。</p> <p>(11 高田 雄三) 抗酸化ストレス関連遺伝子による生活習慣病の分子病態解析・予防医学的研究に関する研究指導を行う。</p> <p>(① 宮城 純子) 精神障害者に対する社会復帰や地域支援体制の確立に関する研究指導を行う。</p> <p>(② 楠永 敏恵) 在宅の医療的ケアに関する包括的分析とその対策に関する研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
（医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究 指導	特別研究指導Ⅱ	<p>各指導教員の研究テーマに沿って研究活動を行うことにより、高度な専門知識を獲得するとともに、研究課題の設定、研究計画の立案、実験・調査・解析の遂行、考察、論文の作成といった一連の研究活動を推進できる能力を養う。</p> <p>特別研究指導Ⅱでは、引き続き研究計画に基づき、データ収集、解析、結果の解釈、論文執筆、および中間報告会発表等を行い、博士論文を作成するために自らの研究をより発展・深化させる。</p> <p>(1 泉 キヨ子) 高齢者リハビリテーションケア技術の開発および転倒予防システムの構築に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 津田 彰) 科学的根拠に基づいた効果的なストレスマネジメントプログラム効果の評価と実践介入などの研究指導を行う。</p> <p>(4 吉岡 幸子) 個人や家族、地域特性を踏まえ、生活者としての健康課題を予防的介入方法に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 鈴木 幹夫) 今後ますます重要になると思われる精神障害である気分障害と統合失調症について、そのリハビリテーションの臨床についての研究指導を行う。</p> <p>(7 山田 健) 人口変容による生活問題と終末期ケアに対応する医療・看護・介護・福祉ネットワークシステム構築の研究指導を行う。</p> <p>(8 眞先 敏弘) 神経内科領域の再生医療を取り上げ、本分野での幹細胞移植治療についての研究指導を行う。</p> <p>(10 萩原 宏毅) 運動が骨格筋、代謝、脳機能に与える影響や運動制御の神経機構についての研究指導を行う。</p> <p>(11 高田 雄三) 抗酸化ストレス関連遺伝子による生活習慣病の分子病態解析・予防医学的研究に関する研究指導を行う。</p> <p>(① 宮城 純子) 精神障害者に対する社会復帰や地域支援体制の確立に関する研究指導を行う。</p> <p>(② 楠永 敏恵) 在宅の医療的ケアに関する包括的分析とその対策に関する研究指導を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻 博士課程)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別 研究 指導	特別研究指導Ⅲ	<p>各指導教員の研究テーマに沿って研究活動を行うことにより、高度な専門知識を獲得するとともに、研究課題の設定、研究計画の立案、実験・調査・解析の遂行、考察、論文の作成といった一連の研究活動を推進できる能力を養う。</p> <p>特別研究指導Ⅲでは、特別研究指導Ⅰ・Ⅱで進めてきた研究を博士論文という研究成果として結実させることを目標とし、査読対応、博士論文の作成・提出、および最終発表会を行う。</p> <p>(1 泉 キヨ子) 高齢者リハビリテーションケア技術の開発および転倒予防システムの構築に関する研究指導を行う。</p> <p>(2 津田 彰) 科学的根拠に基づいた効果的なストレスマネジメントプログラム効果の評価と実践介入などの研究指導を行う。</p> <p>(4 吉岡 幸子) 個人や家族、地域特性を踏まえ、生活者としての健康課題を予防的介入方法に関する研究指導を行う。</p> <p>(6 鈴木 幹夫) 今後ますます重要になると思われる精神障害である気分障害と統合失調症について、そのリハビリテーションの臨床についての研究指導を行う。</p> <p>(7 山田 健) 人口変容による生活問題と終末期ケアに対応する医療・看護・介護・福祉ネットワークシステム構築の研究指導を行う。</p> <p>(8 眞先 敏弘) 神経内科領域の再生医療を取り上げ、本分野での幹細胞移植治療についての研究指導を行う。</p> <p>(10 萩原 宏毅) 運動が骨格筋、代謝、脳機能に与える影響や運動制御の神経機構についての研究指導を行う。</p> <p>(11 高田 雄三) 酸化ストレス関連遺伝子による生活習慣病の分子病態解析・予防医学的研究に関する研究指導を行う。</p> <p>(① 宮城 純子) 精神障害者に対する社会復帰や地域支援体制の確立に関する研究指導を行う。</p> <p>(② 楠永 敏恵) 在宅の医療的ケアに関する包括的分析とその対策に関する研究指導を行う。</p>	

(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の場合、取容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

学校法人帝京科学大学 設置認可等に関する組織の移行表

平成31年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		平成32年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
帝京科学大学				→	帝京科学大学				
生命環境学部 生命科学科	100	3年次	10	420	生命環境学部 生命科学科	100	3年次	10	420
アニマルサイエンス学科	290	3年次	5	1170	アニマルサイエンス学科	290	3年次	5	1170
自然環境学科	100	3年次	5	410	自然環境学科	100	3年次	5	410
医療科学部 理学療法学科	80			320	医療科学部 理学療法学科	80			320
作業療法学科	40			160	作業療法学科	40			160
柔道整復学科	30			120	柔道整復学科	30			120
東京理学療法学科	80			320	東京理学療法学科	80			320
東京柔道整復学科	90			360	東京柔道整復学科	90			360
看護学科	80			320	看護学科	80			320
医療福祉学科	50	3年次	10	220	医療福祉学科	50	3年次	10	220
教育人間科学部 こども学科	50	3年次	5	210	教育人間科学部 こども学科	50	3年次	5	210
幼児保育学科	100			400	幼児保育学科	100			400
学校教育学科	130			520	学校教育学科	130			520
小学校コース	40			160	小学校コース	40			160
中高理科コース	20			80	中高理科コース	20			80
中高保健体育コース	40			160	中高保健体育コース	40			160
国際英語コース	30			120	国際英語コース	30			120
計	1220		35	4950	計	1220		35	4950
帝京科学大学大学院				→	帝京科学大学大学院				
理工学研究科 ハイオサイエンス専攻(M)	15			30	理工学研究科 ハイオサイエンス専攻(M)	15			30
環境マテリアル専攻(M)	15			30	環境マテリアル専攻(M)	15			30
メディア情報システム専攻(M)	15			30	メディア情報システム専攻(M)	15			30
アニマルサイエンス専攻(M)	15			30	アニマルサイエンス専攻(M)	15			30
先端科学技術専攻(D)	8			24	先端科学技術専攻(D)	8			24
医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻(M)	3			6	医療科学研究科 総合リハビリテーション学専攻(M)	3			6
					看護学専攻(M)	3			6 専攻の設置(認可申請)
					柔道整復学健康ケア専攻(M)	3			6 専攻の設置(認可申請)
					総合リハビリテーション学専攻(D)	2			6 専攻の設置(認可申請)
計	71			150	計	79			168